

f u R O 技術を発展させ受賞

清水副所長と入江上席研究員

ロボットや防災、医療、環境など多岐にわたるシステム技術を活かした計測自動制御学会システムインテグレーション部門の第20回講演会(2019年12月12〜14日、高松市のサンポート高松で開催)で、研究発表した未来ロボット



技術研究センター(f u R O)の清水正晴副所長と入江右二と入江清上席研究員(右)が、ともに優秀講演賞に選ばれ、このほど賞状が届いた。

2人の発表内容と受賞の感想は次の通り。

● 清水正晴副所長

「産業用、ロボット用途に多数採用されている国際標準通信技術において通信サイクルタイムを見積もり可能なモデル式の提案」

産業用、ロボット用途に多数採用され機器同士を結んで制御するのに欠かせず国際標準規格である高速ネットワークEtherCAT(イーサキヤット)独企業が開発)で、通信サイクル時間を見積もれるモデル式を提案した。

● 入江清上席研究員

「IMUと単眼カメラによる簡便なシンク計測システム」

IMUはジャイロ・センサーや加速度センサー、磁力計などを組み合わせた慣性計測装置。これにスマートフォン単眼カメラを組み合わせて、ラケットスポーツのタイミング動作などの計測ができることを示した。

実用化も視野に活動していきたいと考えています」と語った。

運動計測手法に取組み合わせれば、安価で手軽な運動計測装置が期待できる。

入江上席研究員は2017年にも別のテーマで同賞を受賞している。

入江上席研究員は「f u R Oの研究成果を分野に応用でき、うれしいです。ロボット技術が実世界で役立つことを目指しこれからも頑張りたいと思います」と語った。

4万1116枚! 写文字にギネス認定書



津田沼祭 70回記念

昨年の第70回津田沼祭(11月22〜24日)の企画「70thピクチャレク4万1116枚の写文字を使って写文字を作ろう」で、4万1116枚の写真を集めて作った写文字が、大学祭最終日前日の23日、ギネスの「Largest photo sentence」世界記録に認定された。24日には津田

津田沼キャンパスの特別ステージで放映された。告げられた認定時間が迫る中、最後まで写真の張り付け作業が続き、来校したギネス公式認定員がカウンタで1枚1枚、写真を数えていった。記録が達成され、公式認定員から認定証を受け取る。右に写真、両キャンパスから歓声が上がった。

翌日の認定セレモニーで企画責任者・松本夏穂さん(応用化学科3年)は「4万枚もの写文字を使って文字を作成する道のりは、簡単なものではないかもしれません。記録を達成した時には言葉で表せないほどの喜びがありました。同窓会やPPA、学生課などたくさんの方々に支援と協力をいただきました。本当にありがとうございます」とあいさつ。第70回津田沼祭を締めくくった。

全日本で本学総合優勝

理工科空手 男女気を吐く

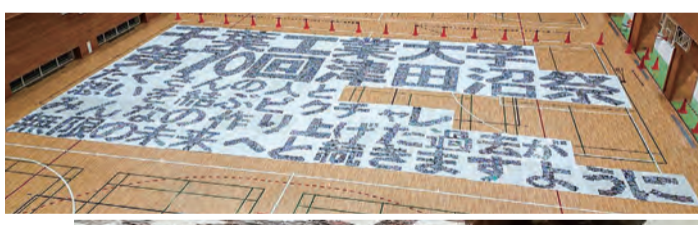
第32回全日本理工科系大学空手道選手権大会(昨年11月24日、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催)で、本学体育会空手道部(三浦彩将IIプロジェクトマネージャ)が各部門で優秀な戦績を修め総合優勝した。写真。部員たちは2月に10日間、米国マイアミに出かけ海外選手たちと同合宿に参加する。戦績は次の通り(敬称略)。

【男子団体組手】2位 千葉工大【団体形】1位 千葉工大(雲手) 28・9点【男子個人組手(有段)】3位 清水拓馬【男子個人形】1位 清水拓馬、3位 堀颯拳【女子個人組手】1位 三浦彩、2位 宮原佐季、3位 工藤花穂【女子個人形】2位 三浦彩

◇部員たちの感想
福田麻斗さん(プロジェクトマネージャ)「プロジエクトマネージャメント学科1年) 団体形は2位と点差をつけることができましたが、課題は山積みで、修正していきたい。内田雄大さん(プロジェクトマネージャ)「初め海外合宿でいろんなことを吸収し成長できるような頑張ります。堀颯拳さん(同) 団体形で優勝できてとてもうれいです。力強さ、気迫を前面に出し二連覇を目指したいと思っています。宮原佐季さん(先端材料工学科2年) (女子個人組手) 2位は素直にうれしい。これからも練習を重ね、少しでも結果につながるよう努力します。初の海外合宿、貴重な経験を無駄にしないようにしたい。」



空手道部部長の相川文弘教授(教育センター)「部員は現在、男子4名、女子4名と少ないながら、学内外の多くの皆様のご支援で大変充実した活動ができ、感謝しています。文武両道を目指し一層活躍していただけることを期待しています。」



集まった写真は23日、新習志野キャンパス体育館一面に、文字を形どって並べられ、その様子は



公立小中学校の9年間で、モノ(制服など指定品、授業で使う教材、消耗品)や、コト(部活動、給食、修学旅行などの校外学習)にかかる保護者負担のお金をいくらか



福嶋助教

納得できるあり方探る

「歴史」「費用負担をどう考えるか(理念)」そのうえで、「現実にあるその費用負担をどうしていくか(対策)」を一望し、納得できるあり方へ転換する道を探っている。終章で「学校の教職員や保護者、子どもたちを取り巻く大人たちが考えることで、実は、公教育無償性の理念は学校という(足元)から少しずつ実



著者||福嶋尚子・千葉工大教育センター助教、柳澤靖明・川口市立小谷場中学校事務主査による共著 発行||太田次郎社エディタス 価格||1980円(税込)

隠れ教育費

公立小中学校でかかるお金を徹底検証



上田准教授

理論↓実装 丁寧に解説

使われるアルゴリズムを書いて動かしてもらい、実感をもってもらおうと企画したのが本書という。内容は、確率・統計の基礎、自律ロボットのモデル化、自己位置推定とSLAM、自己位置推定の諸問題、行動決定、強化学習―などを3部127ページ。 Jupyter Notebook対応なので、すぐに実践できる。コードはGitHubで全部公開している。387ページ。

Pythonによる基礎アルゴリズムの実装

著者||上田隆一・千葉工大未来ロボティクス学科准教授 発行||講談社 価格||4290円(税込)



新任紹介 (敬称略) 新保 仁主席研究員 (人工知能ソフトウェア技術研究センター) 赴任直後(分らない



新保 仁主席研究員

どんど焼き 今年も



南房総市大井地区で2月2日、「令和二年子年大井区民どんど焼き」が行なわれ、加藤和彦プロシエクトマネジメント学

てくださるのでありがたいです。この素晴らしい研究環境を通じて、社会や大学の発展に少しでも貢献できたらと思います。その中でも意外性のある仕事がありました！

「地域のために」と昨年からの企画。約7財のやぐらを組み、無病息災を願って持ち寄った正月飾りやお札を枝に付けた。区長のあいさつの後、12、48歳の年男女4人が火入れし、飾りは意をたてて燃え上がった。

初めて火入れした大場聖太さん(プロシエクトマネジメント学科4年)は「昨年台風被害がひどかったので、今年は災害がないよう祈りながら火を入れました」。消防車も協力し最後は地元の自主防災班と消火訓練も行った。

木管吹奏 全国で銀賞

渡辺さん 音コンで



今回は3回目の出場で、クラリネット曲として華やかなフランスの作曲家メサジェの「ソロ・ド・コンクール」を吹奏。地区予選、地区本選を突破し、全国本選会で念願の入賞を果たした。

高村楽器主催の第33回音楽コンクール全国本選会(1月18日、東京都千代田区)の紀尾井ホールで開催)の、趣味で音楽を楽しむ人を対象とした一般デライトフルの部・木管リード楽器部門(クラリネット)で、本学の渡辺建さん(情報通信システム工学科3年)が銀賞に輝いた。

同窓会



東京スカイツリータワーキャンパスに配属になりました。今年、オリ・パライヤーでもあり、例年になく来館者数も増えることが予想されます。恐らく、年内には来場者数が、百万人を達成できるものと思えます。今度、来られたOBの方からは、「今度は、孫と一緒に来るから」

四季雑感



毎年この時期、私のような自転車愛好家(自称ロードレーサー)にとって悩ましい季節です。天気予報では「今年は暖冬傾向です」などと言っていますが、ロードレーサーの週末はそれほど生ぬるいものではありません。先日最高気温7度、北西の風6m。微妙です。

編集だより



1月、2月の入試シーズンは、仕事上、1年中でも最大の繁忙期。瞬間に時間が過ぎ去っていく。それと同時に家事が手抜きになり、私の家は、この時期見られたものではない。そもそも、普段から多少散らかっていても、い